

# MAXIFIT用発電量シミュレーター

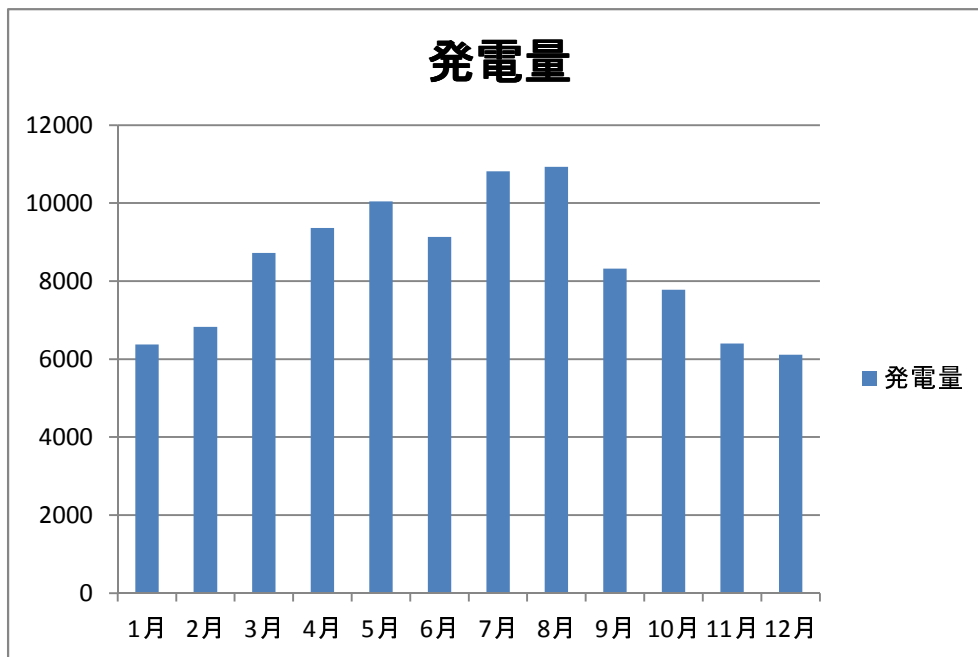


発電所名: NextEnergy  
地点名: TOKUSHIMA  
パソコン名: デルタ RPI H6J/H6J  
設備容量: 47.2kW

2017/6/26  
Ver.1.60

パネル名: NER660M295

Group1	方位: 0度	傾斜角: 10度	パネル枚数: 288	増加積載量: 180%	パソコン台数: 8
Group2	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パソコン台数: 0
Group3	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パソコン台数: 0
Group4	方位: 0度	傾斜角: 0度	パネル枚数: 0	増加積載量: 0%	パソコン台数: 0
パネル総枚数: 288枚			パネル総出力: 84.96kW	増加積載量: 180%	



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発電量	6377	6824	8719	9363	10041	9135	10812	10930	8322	7779	6402	6109	100813 kWh

## 算出条件

- ・日射量データ: NEDOの全国日射量データベース(MET-PV11)にて  
傾斜角+方位角を設定して1年分の日毎データを入力、平均年、多照年、寡照年の入手も可能
- ・算出ロジック: [太陽電池容量x日射量データ(日毎)xシステム効率x増加積載によるパソコン出力Over分Cut]で  
日毎の発電量を算出後、月間、年間で合計

## ・本シミュレーションの結果は目安であり、実際の発電量を保証するものではありません。

実際の発電量との差異は、以下の例が考えられます。

- 日射量の年変動、NEDO測定点と発電所設置場所の気象条件の違い
- 設置場所・設備固有の条件による影響
- 周囲の建築物・設備自身等による影、草、パネル面汚れ等の環境要因
- 電圧上昇抑制等の系統からの要因
- 設備の効率やばらつき・故障・劣化・障害物・点検等
- 天候要因での停止、発電量低下、雷、雪、霜、水害等 その他